

当協議会の活動報告

一社全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会
宮永和夫

全国若年認知症フォーラムの目的

一般社団法人全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会は、全国の若年認知症家族会および支援者の会、及びその会員などで構成し、若年認知症に関わる**各地域の医療・福祉・介護・就労状況等の情報交換**を行うとともに、**若年認知症の人と家族の安寧と権利を確保する**ように各種の機関へ呼びかけ、若年認知症に**特化した支援とケアを拡充するための事業**や**社会活動を協働して行う**ことを目的とした団体です。

当フォーラムは、当法人の総会とともに、関係する団体が一堂に会し、相互交流と情報交換する場として2010年度に始まりましたが、その議論の中で、対外的にも情報を発信することやその場所づくりが必要ということになりました。**厚生労働省老健局担当課の協力と開催地の都道府県関連部局の共催や後援**は第2回のフォーラムより現在のフォーラムまで続けて頂いておりますが、それらの協力の下、**広く開催地や隣接する都道府県民を対象**として、**若年認知症に関連する知識の普及**を行うとともに、当協議会への加入の有無に関わらず、関係する団体に参加を求めることで**幅広いネットワーク作り**も行ってまいりました。

未だ、全都道府県での開催は達成されておられませんし、全国の若年認知症の人と家族の安寧と権利は未だ十分に確保されたとは思いません。そのため、この活動は今後も続けていきたい、また行かざるを得ないものと思っております。以上のような主旨に賛同いただき、皆さまのご協力・ご支援をお願いできれば幸甚です。

1. 全国若年認知症フォーラムの歴史

- 第1回は、2010年2月に開催され、NPO若年認知症サポートセンターが主催しました。それを契機に、同年5月に全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会が結成されました。
- 2回と3回はNPO若年認知症サポートセンターと共催、4回以降は全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会が主催となり、現在に至っています。
- なお、令和3年4月より、当協議会は、任意団体から一般社団法人になりました。

若年認知症の家族会と支援者・全国のつどい (**第一回**全国若年認知症フォーラム)

開催地：日本青年館ホール（東京都新宿区、神宮外苑近く）

日時：2010年（平成22年）2月21日

参加
テーマ
概要

厚労省 + 家族会 + 支援者の会

1. 若年認知症の実態調査の報告

2. 国の若年認知症対策の現状(厚生労働省老健局) 櫻井宏充氏

3. アピール文 若年認知症ぐんま家族会 大沢幸一氏

主催：NPO若年認知症サポートセンター



櫻井氏

若年認知症の家族会と支援者：全国のつどい・アピール文の発表

若年認知症の家族会と支援者・全国のつどい
主催：特定非営利活動法人 若年認知症サポートセンター



2023/11/19

福岡フォーラム

若年認知症の家族会と支援者 :全国のつどい・アピール文

1. 若年認知症の発症早期に生じる就労と医療・福祉の諸問題に対する行政の専門的窓口を設置し、個別の相談・支援をしてほしい。
2. 若年認知症の本人が本人らしく生活・社会参加できる環境を整備してほしい
3. 介護する家族や子供に対する経済的、心理的支援を行ってほしい
4. 福祉制度・社会保障、経済的支援に対しての充実を図ってほしい
5. 若年認知症を支援できる専門職やサポーターを充実してほしい
6. 若年認知症について、全国民に理解してほしい

今までの対応・対策の結果

- ➡地域包括支援センター（2005年）
但し、いまだ若年対応ができない所があります
- ➡新オレンジプラン（2015年）
- ➡ヤングケアラー調査（2020年）
最近の関心ごとです
- ➡認知症基本法（2023年）成立により進展を期待（今後も大きな課題です）
- ➡若年性認知症支援コーディネーター（2016年）
- ➡全国若年認知症フォーラム（2010年）より独自に開始

「全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会」の結成式



大小に関係なくすべての団体が平等な立場であること。情報を共有しあい、本人と家族の尊厳と安寧実現のため共に歩むこと

第1回全体会



2010年2月に行われたNPO若年認知症サポートセンター主催の「全国のつどい」を契機に、各地に点在している若年認知症家族会と支援者の組織が繋がりはじめ、同年5月「全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会」の結成、同年9月19日第1回全体会開催によって本格始動しました。

第2回全国若年認知症フォーラム in 福岡

開催地：ふくふくプラザ（福岡市市民福祉プラザ）（福岡市）

日時：2011年（平成23年）2月20日

参加人数：100人

概要

厚労省———地方自治体（県、市）

1. 国

2. 長 **全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会** (授)

3. 若年認知症介護家族の健康調査報告

4. シンポジウム

「地域のネットワークを広げるために」

後援：福岡県、福岡市



全国若年認知症フォーラム in 福岡

【日時】 2011 年 2 月 20 日 (日) 13:00~16:30
【場所】 ふくふくプラザ 福岡市市民福祉プラザ ふくふくホール

【プログラム】

司会 前田 隆行氏 町田市福祉サービス協会おりづる苑せりがや

13:00 開会挨拶

趣旨説明 若年認知症サポートセンター理事長 宮永 和夫氏

13:10 国の若年認知症対策の現状

厚生労働省 老健局 高齢者支援課

認知症・虐待防止対策推進室係長 櫻井 宏充氏

13:40 最近の認知症診断・治療のトピック

福岡大学 医学部神経内科学教室 山田 達夫教授

14:50 休憩 (10分)

15:00 若年認知症介護家族の健康調査報告

首都大学東京 健康福祉学部 勝野 とわ子教授

15:20 <シンポジウム>地域のネットワークを広げるために

コーディネーター 比留間 ちづ子氏

(若年認知症社会参加支援センタージョイント所長)

パネリスト 中村 道人氏 (若年認知症家族会空知ひまわり 事務局長)

中島 七海氏 (医療法人笠松会天神オアシスクラブ 施設長)

恩塚 浩史氏 (若年認知症サポートセンター「絆や」センター長)

16:20 まとめ・閉会挨拶

主催：特定非営利活動法人若年認知症サポートセンター

共催：全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会

後援：福岡県/福岡市/(社)ふくおか福祉サービス協会/天神オアシスクラブ/
福岡県高齢者グループホーム協議会/(社)認知症の人と家族の会福岡県支部



中島七海氏



2023/11/19

福岡フォーラム

第3回若年認知症フォーラム in 群馬

開催地：群馬会館（群馬県前橋市）

日時：2012年（平成24年）1月29日

参加人数：150人

テーマ：「地域で支えあう絆を作ろう」

概要：

1. 認知症の理解とケア（小坂憲司先生）

2. 報告「若年認知症家族の健康」

3. 報告「群馬県の若年認知症対策」

4. シンポジウム

「若年認知症の人の生活と支援の現状」

後援：群馬県、前橋市、高崎市、桐生市



小坂憲司先生

地域で支えあう **絆** を作ろう

平成 24 年 1 月 29 日(日)
13:00~16:30(受付 12:00)



群馬会館 ホール

定員 300 名(事前申込制) 参加費 2000 円



徳江会長



大澤副会長



基調講演 13:10~14:00

「認知症の理解とケア

~新たな治療のあり方を求めて~」

小阪憲司 先生

メディカルケアコートクリニック院長
レビー小体型認知症研究会代表世話人代表

シンポジウム 15:00~16:00

「若年認知症の人の生活と
支援の現状」

【コーディネーター】小野寺敦志 先生
(国際医療福祉大学大学院准教授)

【シンポジスト】
社会保険労務士の立場 前田良子 氏
(特定社会保険労務士)

家族の立場 大沢幸一 氏
(全国若年認知症連絡協議会顧問)

介護事業者の立場 核場直美 氏
(多機能ハウス ひなたぼっこ管理者)

報告① 14:00~14:20

「若年認知症家族の健康」

勝野とわ子 教授

首都大学東京 健康福祉学部

報告② 14:20~14:40

「群馬県の若年認知症対策」

塚越日出夫 氏

群馬県健康福祉部介護高齢課 課長

【特設】若年認知症のひろば

12:00~16:30 会場:1 階広間

全国の若年認知症家族会や
支援団体の展示や物品書籍
販売を行っております。

全国の活動状況に関する情報ひろば。

無料



司会
竹内 弘道 様

2023/11/19



勝野とわ子氏

主催 特定非営利活動法人若年認知症サポートセンター

共催 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会 28 団体

後援 群馬県/群馬県医師会(予定)/若年認知症ぐんま家族会

群馬県社会福祉協議会(予定)/前橋市(予定)/高崎市(予定)/桐生市(予定)

トホ新聞(予定)/NHK前橋(予定)/群馬テレビ(予定)/エフエムぐんま(予定)

福岡フォーラム

第4回全国若年認知症フォーラム in 奈良

開催地：奈良県新公会堂（奈良県奈良市）

日時：2013年（平成25年）2月17日

参加人数：300人

テーマ：「うちら一緒にいるから大丈夫」

概要

1. 国施策の報告 厚生労働省老健局高齢者支援課
2. 報告：奈良県の若年認知症の実態
3. 講演：岸本年史教授（奈良県立医大）
4. シンポジウム
「支える、つなげる、広げる」

後援：奈良県、奈良市

助成：小野製薬会社





新公会堂能楽ホール



大塚さんと
若野さん

2023/11/19

第4回 全国若年認知症フォーラム in 奈良

ネットワークで支えよう若年認知症



こちら 一緒にいるから 大丈夫

2013年2月17日(日) 12:00-17:00 (受付11:00~)

■場所 奈良県新公会堂1階 能楽ホール ■参加費 2,000円 ■定員 先着300名

Program

12:00 開会の辞 ゆきぐに大和病院 院長 宮永 和夫 先生

12:10 **国の若年認知症施策の現状について**

厚生労働省老健局 高齢者支援課 認知症虐待防止対策推進室

12:55 **演題未定**

特別講演 座長：天理よろづ相談所病院

神経内科 部長 末長 敬彦 先生

奈良県立医科大学 精神医学講座 教授 岸本 年史 先生

13:40 **奈良県若年認知症の実態**

調査報告 奈良県職員

14:10 **break time**

14:30 **支える・つなげる・広げる—あなたの町でできること—**

座長：奈良女子大学 生活環境学部 生活文化学科 准教授 井口 高志 氏

元大阪府社会福祉協議会 社会貢献支援員 若年認知症支援の会 愛都の会 梅原 早苗 氏

神戸市社会福祉協議会 若年認知症交流会おひさま 小山 尚子 氏

堺・若年認知症支援の会アクティブ(社) 野田福祉会 上野 光彦 氏

15:30 **支援を超えて…**

座長：NPO法人認知症フレンドシップクラブ理事 徳田 雄人 氏

放送大学教養学部 教授/NPO法人認知症フレンドシップクラブ 理事長 井出 訓 氏

富士通研究所 R&D戦略本部 シニアマネージャー 岡田 誠 氏

NEC情報・メディアプロセッシング研究所 安川 眞之 氏

16:30 閉会の辞 奈良実行委員会

16:40 *終了後、軽食をご用意させていただきます。(持ち帰り可)

FAX

お申し込みはFAXにて
お願い致します。

0742
(34) 8163

(小野薬品工業㈱ 奈良営業所)



僕は国のまほろば
たなづく音垣
山隠れる
俵しうるはし



主催：全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会 後援：奈良県、奈良市、公益社団法人認知症の人と家族の会 奈良県支部、公益社団法人日本

福岡フォーラム

第5回全国若年認知症フォーラム in 埼玉

開催地：彩の国すこやかプラザホール（埼玉県さいたま市）

日時：2014年（平成26年）2月22日

参加人数：200人

テーマ：「若年認知症の地域医療と地域ケア」

概要

1. 「オレンジプランと若年性認知症施策の推進について」
（厚生労働省老健局長 原勝則氏）

2. 報告：埼玉県の認知症対策

3. 報告：さいたま市の若年認知症の実態調査報告

4. シンポジウム

「本人・家族の声を受け止めることがはじめの一步」

共催：埼玉県、さいたま市

後援：厚生労働省



本人と家族の発言

第5回全国若年認知症フォーラムIN埼玉

若年認知症の地域医療と地域ケア



平成 **26** 年 **2** 月 **22** 日(土)
13:00~16:30(受付 12:00)
彩の国すこやかプラザ
 定員 200名(事前申込制)
 参加費 2,000 円 (認知症本人・家族の方は無料です)



基調講演 13:10~14:00
 「オレンジプランと
 若年性認知症施策の推進について」
原 勝則 氏
 厚生労働省 老健局長

報告① 14:00~14:20
 「若年認知症に関する実態調査報告」
小林 誠 氏
 さいたま市浦和区北部圏域地域包括支援センター

報告② 14:20~14:40
 「埼玉県の若年認知症対策」
沢辺 範男 氏
 埼玉県福祉部高齢介護課 課長

シンポジウム 15:00~16:00
 「本人・家族の声を受け止めることが
 はじめの一歩」
 【コーディネーター】 **西村 美智代 氏**
 埼玉県認知症グループホーム・小規模多機能協議会 会長
 NPO 法人生活介護ネットワーク 理事長
 【シンポジスト】
金子 敏明 夫妻
斎藤 徹 夫妻

【特設】若年認知症のひろば
 12:00~16:30
 全国の若年認知症家族会や支援団体の展示や物品書籍販売を行っております。
 全国の活動のノウハウや介護のヒントになる情報が集まります。この機会にぜひご覧ください。



【会場へのアクセス】

彩の国すこやかプラザ

京浜東北線が「与野駅」西口徒歩10分
 所在地
 〒330-8529
 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4丁目2番65号
 048-822-1195(介護すまいる館 直通)

【本フォーラムに関するお問合せ】
 全国若年認知症委員会・支援者連絡協議会
 本部事務局（担当：田中）

TEL:03-5919-4186

（月水金 10時～17時）

〒140-0022
 東京都中央区銀座1-25-3-302
 (NPO法人若年認知症サポートセンター内)
 メール:info@ca-support.com



原勝則老健局長、
 西村美智代さんと共に

福岡フォーラム

第6回全国若年認知症フォーラム in 滋賀

開催地：ピアザ淡海（滋賀県大津市）

日時：2015年（平成27年）1月25日

参加人数：400人

テーマ：「支えること、支えられることの垣根をなくす」

概要：

1. 講演「若年認知症施策の現状」（厚生労働省老健局）
2. 講演「川崎市における認知症連携と若年認知症の現状」
北村伸特任教授（日本医科大学）
3. 報告：滋賀県の若年認知症対策
4. シンポジウム
「滋賀県発 若年認知症の人たちを中心
とした働くことへのチャレンジ」

共催：エーザイ株式会社

後援：滋賀県

2023/11/19

福岡フォーラム



北村伸先生



2023/11/19

藤本直規先生と共に

第6回 全国若年認知症フォーラムIN滋賀

～支えること、支えられることの垣根をなくす～

● 開催日
平成27年**1月25日**日
12時00分～17時00分 (受付11時～)

● 会場
ピアザ淡海 ピアザホール
(滋賀県立県民交流センター)
大津市におの浜1丁目-20 TEL077-527-3315

プログラム

- 12時00分～ 開会あいさつ ゆきくに大和病院 院長 宮永 和夫 先生
- 12時10分～ 来賓あいさつ 滋賀県知事 三日月 大造
- 12時20分～13時10分 『**若年認知症施策の現状**』
厚生労働省老健局高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室 室長補佐 翁川 純尚 氏
- 13時15分～14時05分 共催セミナー 『**川崎市における認知症連携と若年性認知症の現状**』
特別講演 講師：日本医科大学 特任教授 北村 伸 先生 共催：エーザイ株式会社
- 14時10分～14時25分 『**滋賀県の若年認知症対策について**』 滋賀県医療福祉推進課
- 14時25分～14時40分 〈休 憩〉
- 14時40分～16時40分 『**滋賀県発 若年認知症の人たちを中心にした働くことへのチャレンジ**』
～支えること支えられることの垣根をなくす～
進行・全体報告：医療法人 藤本クリニック/ NPO法人もの忘れカフェの仲間たち 藤本 直規 奥村 典子
リレ－報告：～かかりつけ医が行う若年認知症企業研修～
〈報告者〉サポート医 藤井内科 藤井 義正 氏
～行政もバックアップ～
〈報告者〉守山市地域包括支援センター/ 高島市南部・北部地域包括支援センター
～家族も社会参加～
〈報告者〉家族 藤本 尚雄
～仕事の場の広がり 滋賀県～
〈報告者〉チームほたる：立入 道夫 氏 / NPO法人元気な仲間：谷 仙一郎 氏
仕事にきんせ：上野 康子 氏
～仕事の場の広がり 滋賀県から全国へ～
〈報告者〉長野県 NPO法人やしほべー：中津 純一 氏
愛知県 社会医療法人 百瀬会 いまいせ心療センター/ 認知症センター：小倉 繁 氏
～働くことでつながった仲間～
〈報告者〉NPO法人 滋賀県社会就労事業振興センター：城 貴志 氏
- 16時40分～16時55分 『**全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会からのメッセージ**』
- 16時55分～ 閉会あいさつ 藤本 直規

入場無料
(個人資料代500円必要)
定員**400名**

参加ご希望の方は、平成27年1月10日(土)までに
裏面申込用紙でお申し込みください。(郵送、FAX)
どなたでもお気軽にお越しください。
●会場の都合により、定員になり次第、締め切らせていただきます。
ご参加いただけない方には、代表者の方にご連絡いたします。

主催：全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会

第7回若年認知症フォーラム in 熊本

開催地：荒尾総合文化センター（熊本県荒尾市）

日時：2016年（平成28年）2月14日

参加人数：600人

テーマ：「今、そしてこれからを生きる目標を…！」

概要：

1. 講演：若年認知症の理解と課題 **池田学教授(熊本大学)**

2. 報告①：厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室

3. 報告②：熊本県認知症対策・地域ケア推進課

4. 報告③：荒尾市高齢者支援課

5. シンポジウム

「私の思いを伝えたい」

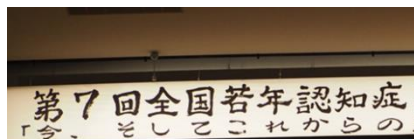
6. スペシャルライブ

高次機能障害を有する歌手のコンサート

後援：熊本県、荒尾市



池田学先生



平成28年4月14日に
熊本地震がありました

第7回 全国若年認知症フォーラムin熊本

「今、そしてこれからの生きる目標を・・・！」

日時 平成28年
2月14日 日
12:00~16:30(受付11:00~)

会場 荒尾総合文化センター「大ホール」
及びギャラリー

**参加費
500円**

第一部
特別講演
「若年認知症の理解と課題」
熊本大学大学院 池田学 教授

報告① 厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室
報告② 熊本県認知症対策・地域ケア推進課
報告③ 荒尾市高齢者支援課

第三部
シンポジウム
「私の思いを伝えたい」
若年認知症のご本人、ご家族、支援者の声

スペシャルライブ
一ノ瀬 たけしさん

参加申込み方法：参加ご希望の方は、裏面申込用紙でお申し込みください。（郵送、FAX、メール）
※当日の参加も可能です。



櫻井宏充氏(厚労省)と西村哲夫(右)さんと共に



歌手・一ノ瀬さん
(高次脳機能障害の方の参加)



2023/11/19

万
田
坑

福岡フォーラム



第8回 全国若年認知症フォーラム in 東京・目黒

開催地：目黒パーシモンホール（東京都目黒区）

日時：2017年（平成29年）2月26日

参加人数：700人

テーマ：「認知症ケアの“ヒント”が満載」

概要：

<若年認知症フォーラム>

1. 講演：若年認知症を理解しよう 齋藤正彦先生（松沢病院長）
2. 報告：厚生労働省、東京都
3. パネルディスカッション（Ⅰ）早期発見と集中支援
（Ⅱ）支援のかたち 目黒の現場から

<若年認知症EXPO>

1. 展示・相談
2. ステージ&パフォーマンス
3. 認知症カフェ

共催：東京都、目黒区

会場：
めぐろパーシモンホール



152-0023 目黒区八雲1-1-1

Tel.03-5701-2924

東急東横線都立大学駅 徒歩7分

- ①東急東横線の都立大学駅改札を出て左へ進む。
- ②目黒通り（都立大学駅前交差点）を渡り、そのまま柿の木坂通りを直進。
- ③坂を登り、郵便局を過ぎ、信号を過ぎると、めぐろパーシモンホールのある広場に到着します。



問い合わせ

事務局本部：NPO若年認知症サポートセンター

電話 03-5919-4186 <http://www.jn-support.com/>

目黒事務局：NPO「Dカフェ」

電話 03-3719-5592 <http://d-cafe.kazekusa.jp/>

- フォーラムとEXPO
- 社会参加・支援の在り方
認知症カフェなど
- 他の障害者の参加
高次脳機能障害・発達障害など

●ご記入いただいた個人情報は当フォーラムの目的に限って使用させていただきます。

2023/11/19

福岡フォーラム

認知症ケアの“ヒント”満載

第8回

全国若年認知症フォーラム

in 東京・目黒

若年認知症には、認知症問題のすべてが凝縮されています。
若年認知症の課題を整理し、最新のケア情報を提供します。
地域の事例から「認知症とともに暮らす社会」を考えます。

日時：2017年2月26日（日）午前11時～午後5時半

会場：めぐろパーシモンホール

参加費：500円（資料代）

定員：1200人（申し込み先着順）

第1会場(大ホール)

若年認知症 フォーラム

～知識を深め、考える～

基調講演 「若年認知症を理解しよう」

講師：都立松沢病院院長 齋藤正彦さん

パネルディスカッションI

「早期発見と集中支援」

松沢病院認知症疾患医療センター
若年性認知症総合支援センター
大成建設人事部
若年認知症当事者/ケアマネジャー

パネルディスカッションII

「支援のかたち 目黒の現場から」

三宿病院認知症疾患医療センター
若年デイサービス/認知症カフェ
ケアマネジャー/目黒区保健師

第2会場(小ホール)

若年認知症 EXPO

～体感し、交流する～

展示・相談

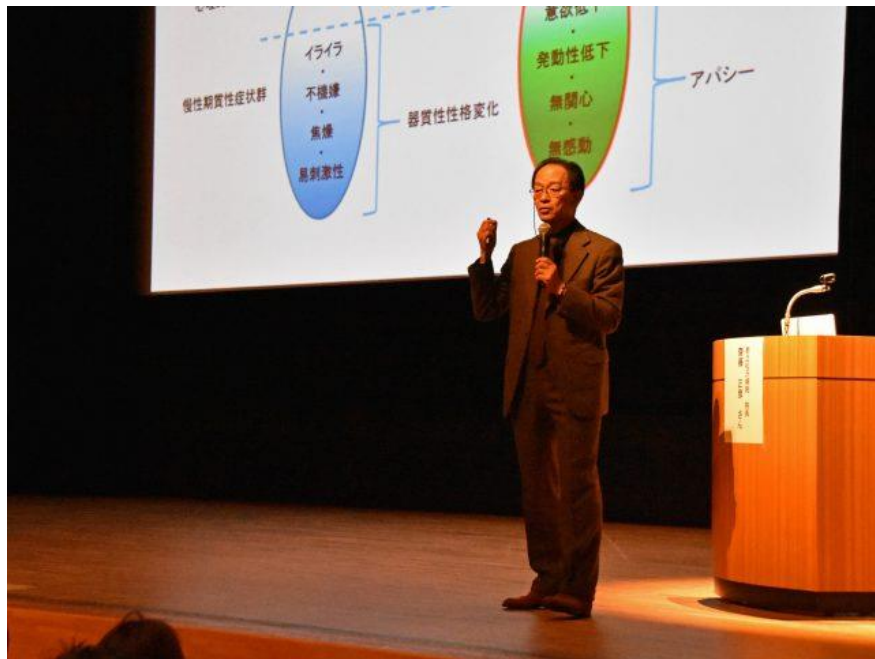
- ★若年認知症家族会・支援者グループ
- ★高次脳機能障害家族会
- ★認知症疾患医療センター
- ★目黒区の総合病院
- ★医療ソーシャルワーカー

ステージ&パフォーマンス

- ★当事者たちの「トーク&トーク」
- ★臨床美術ワークショップ
- ★立体イラスト原画展&トーク
- ★創作認知症落語

認知症カフェ めぐろの「Dカフェ」

主催：全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会 共催：東京都/目黒区
後援：厚生労働省/一般社団法人目黒区医師会/目黒区介護事業者連絡会/
一般社団法人東京都医療社会事業協会/NPO法人若年認知症サポートセンター



若年認知症EXPO 創作認知症落語(新里先生)



若年認知症フォーラム 斎藤先生



竹内弘道氏

2023/11/19



福岡フォーラム

第9回全国若年認知症フォーラム in 青森・八戸

開催地：八戸地域地場産業振興センター
ユートリー（青森県八戸市）

日時：2018年（平成30年）3月25日

参加人数：264名

テーマ：「暮らしと働くを支える」

概要：

1. 報告：若年性認知症施策の現状 厚生労働省老健局
 2. 報告：青森県の施策
 3. 基調講演：若年性認知症 東海林幹夫教授（弘前大）
 4. 特別講演：認知症と生きてゆく理想の社会の構築へ向けて
 5. シンポジウム 「若年性認知症の人が働くということ」
（本人家族、企業、障害就業・生活支援センター職員参加）
- 共催：青森県



東海林幹夫先生



第9回 (平成 29 年度青森県若年性認知症自立支援ネットワーク研修)

全国若年認知症フォーラムin青森・八戸

～暮らしと働くを支える～

日時 2018年3月25日(日)
10:00~16:00 (9:30開場)

資料代 500円
定員 480名

場所 ユートリー 大ホール
(八戸地域地場産業振興センター)

午前の部(10:00~)
 >> 若年性認知症施策の現状 厚生労働省

>> 青森県の施策 ~青森県若年性認知症総合支援センター事業~
青森県 高齢福祉保険課

>> 基調講演: 若年性認知症 ~生きがいのある生活をおくるために~
弘前大学医学部附属病院 神経内科 教授 東海林 幹夫 先生

>> 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会からのメッセージ

午後の部(13:30~)
 >> 特別講演: 認知症と生きていく理想の社会の構築へ向けて
東京大学医学部附属病院 神経内科 講師 岩田 淳 先生

>> シンポジウム: 若年性認知症の人が働くということ
 シンポジスト: 若年性認知症の本人・家族 / 障害者就業・生活支援センターみなと
 はちのへ認知症疾患医療センター / 株式会社エアテック
 若年性認知症サポートセンターゆえみ

お問合せ 青森県若年性認知症
総合支援センター
 〒039-1101 八戸市尻内町宇島田 13-1
 TEL: 0178-38-1360
 E-mail: jakunen@kokorosukoyaka.org

共同主催: 青森県 / 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会
 後援: 厚生労働省 / 八戸市 / 独立行政法人労働者健康安全機構青森産業保健総合支援センター / 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 / 公益社団法人青森県医師会 / 公益社団法人青森県介護支援専門員協会 / 公益社団法人青森県社会福祉士会 / 公益社団法人認知症の人と家族の会青森県支部 / 公益財団法人こころすこやか財団 / 一般社団法人八戸市医師会 / 一般社団法人青森県薬剤師会 / 一般社団法人認知症ケア学会 / 一般社団法人青森県理学療法士会 / 一般社団法人青森県作業療法士会 / 一般社団法人青森県介護福祉士会 / 青森県精神保健福祉士協会 / 青森県聴工会議所連合会 / 青森県商工会連合会 / 若年認知症研究会 / NPO法人若年認知症サポートセンター

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



いかずきんズ



松倉典子氏



2023/11/19 福岡フォーラム

第10回全国若年認知症フォーラム in 北海道・札幌

開催地：札幌市教育文化会館大ホール（北海道札幌市）

日時：2019年（平成31年）3月10日

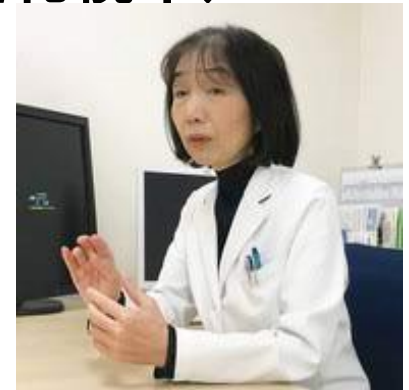
参加人数：570名

テーマ：「困難から希望を創る」

概要：

1. 報告「若年性認知症の支援と今後の方向」

大島一博氏（厚生労働省老健局局長）



内海久美子先生

2. 講演：医療において若年認知症の人と家族が抱える困難さ

内海久美子先生（砂川市民病院）

3. 家族・支援者からのメッセージ

4. 講演：若年認知症ケアへの挑戦 岡田京子氏（デイサービス
スいろどり管理者）

5. 10周年記念リレートーク（若年認知症北海道家族、北海道、
札幌市の担当者が参加）



大島一博老健局長と共に



平野憲子さん、平野雅宣氏、盛林さん

北海道ひまわりの会、空知ひまわり、東胆振ひまわりの会、旭川ひまわりの会、北見たんぽぽ

全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会 発足 10 周年記念

第10回 全国若年認知症フォーラム

in 北海道・札幌 ~ 困難から希望を創る ~

午前の部 10:00~

「若年性認知症の支援と今後の方向」

厚生労働省老健局長 大島一博氏

●基調講演

「医療において若年認知症の人と家族が抱える困難さ」

砂川市立病院 認知症疾患医療センター長 内海久美子氏

家族・支援者からのメッセージ

●若年認知症の困難と私たちの期待
NPO 法人北海道若年認知症のひとと家族の会 平野憲子

●全国連絡協議会の果たしてきた役割と提言
全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会会長 宮永和夫

午後の部 13:30~

●特別講演

「若年認知症ケアへの挑戦 一本人と家族の支援を通して一」

株式会社ライフケア彩り 認知症対応型デイサービスいりどり管理者 岡田京子氏

◆10周年記念リレートーク

「広域な北海道に本人・家族支援のネットワークを構築する 一私たちが悩み・考え・手をつないでいること一」

- 北海道ひまわりの会 ●空知ひまわり ●東胆振ひまわりの会 ●旭川ひまわりの会 ●北見たんぽぽ
- 行政の立場から 北海道・札幌市
- まとめ 若年認知症北海道連絡会代表 平野雅宣

2019年3月10日

時間：10:00~16:00 (9:30 開場・受付)

会場：札幌市教育文化会館大ホール
札幌市中央区北1条西13丁目

資料代
500円

主催：全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会 若年認知症北海道連絡会

後援：厚生労働省・北海道・札幌市・苫小牧市・旭川市・北見市・北竜町・北海道医師会・札幌市医師会・北海道認知症疾患医療センター懇話会・社会福祉法人北海道社会福祉協議会・社会福祉法人札幌市社会福祉協議会・公益社団法人北海道社会福祉士会・一般社団法人北海道介護福祉士会・一般社団法人北海道介護支援専門員協会・一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会・一般社団法人北海道精神保健福祉士協会・一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会・北海道デイサービスセンター協議会・公益社団法人日本認知症グループホーム協会北海道支部・一般社団法人北海道認知症グループホーム協会・一般社団法人北海道リハビリテーション専門職協会・北海道認知症のひとを支える家族の会・NPO 法人若年認知症サポートセンター

認知症ケア専門士 3 単位

Supported by THE NIPPON FOUNDATION

第11回全国若年認知症フォーラム in 三重・四日市

開催地：三重県四日市市文化会館（三重県四日市市）

日時：2020年（令和2年）2月16日

参加人数：758名

テーマ：「つなぐ」

概要：

1. 講演：三重県若年性認知症施策10年間の取組
鈴木英敬氏（三重県知事）
2. 講演：若年認知症の正しい理解と研究の進歩
池田学教授（大阪大学）
3. 報告：若年性認知症の施策について 厚生労働省老健局
4. リレートーク
5. 分科会（ランチトーク、若者ケアラーのつどい、若年性認知症支援コーディネーターのつどい、若年性認知症カフェ）
6. 若年認知症研究会 講演会



鈴木英敬知事



池田学先生



森市長とこにゅうどうくん



伊藤美知氏

2023/11/19

第11回 全国若年認知症フォーラム

in 三重 四日市

メイン会場 (第2ホール)

午前の部 10:00 ~

三重県若年性認知症施策 10年間の取組

三重県知事 鈴木英敬

「若年性認知症の施策について」

厚生労働省大臣官房企画官(老健局担当) 栗原正明氏

◆基調講演

座長 鈴鹿医療科学大学 看護学部教授 葛原茂樹先生

若年性認知症の正しい理解と研究の進歩

大阪大学大学院 精神医学 教授 池田学先生

午後の部 13:30 ~

全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会の取組

全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会会長 宮永和夫

若年性認知症支援コーディネーターの支援

認知症介護研究・研修大府センター 研究主幹 齊藤千晶氏

リレートーク テーマ「つなぐ」

～若年性認知症者の気づきから、住み慣れた地域へのソフトランディングできる環境づくりを考える～

- ・座長/まとめ 三重大学附属病院 神経内科医 吉丸公子医師 ・本人、家族の会「家族みまん。」 ・本人の会「レイの会」
- ・産業界 ・連携型認知症疾患医療センター ・精神科医 ・若年性認知症支援コーディネーター ・地域包括支援センター

入場無料 第4ホール

キッズサポーター養成講座

ランチトーク「認知症と食事」

(鈴鹿医療科学大学医療栄養学科 中東真紀先生)

若者ケアラーのつどい

若年性認知症支援コーディネーターのつどい

若年性認知症カフェ(レイの会)

絵本読み聞かせ・缶バッジを作ろう!!

同日開催 第3ホール 13:30 ~

若年認知症研究会 講演会

参加費 医師 3,000円、医療関係者 1,000円、患者家族等：無料

日本医師会生涯教育の認定単位取得可能

「地域の若年性認知症の取り組み」

「前頭側頭葉変性症の行動の症状について」

「若年者の脳卒中、血管性認知症の予防と治療について」

参加費 (資料代) 500円

2020年 2月16日(日)

10:00 ~ 16:30

四日市市文化会館

三重県四日市市安島2丁目5-3

福岡フォーラム

第12回

全国若年認知症

参加費
無料

フォーラム

in
広島

2022年2月20日(日) 10:00~16:00

オンライン形式

講演の部 午前10:00~12:30

- ① 若年性認知症施策の方向性 厚生労働省 老健局認知症施策・地域介護推進課 谷内一夫氏
- ② 認知症疾患センターの取り組み 広島市西部認知症疾患医療センター 岩崎庸子先生
「診断告知後のかわりについて」
- ③ 一般社団法人 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会の取り組み 代表理事 宮永和夫

実践・交流の部 午後13:00~16:00

- ① 当事者グループの活動発表
一人で抱え込んでいましたが、仲間と出会い元気になりました。
- ② 家族支援のあり方
できない自分を責めたり、一人で抱え込んだり、そんな気持ちに「そう思っていたよ」を伝えたい。
- ③ 社会と繋がっていくために（リレートーク）
県内の支援体制や、働く、寛く、楽しむ、人とのつながりなど、リレートークで紹介します。

主催：一般社団法人 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会
共催：第12回全国若年認知症フォーラム in 広島 実行委員会

協力：広島県
後援：厚生労働省、アクサ生命保険株式会社 広島支社、一般社団法人 日本認知症本人・フーキンググループ JDWG、一般社団法人 広島県医師会
一般社団法人 広島県介護支援専門員協会、一般社団法人 広島県介護福祉士会、一般社団法人 広島県言語聴覚士会

福屋フォーラム

2022/4/24に開催
「社会と繋がっていくために」

ハイブリッド方式

- ① Zoom & YouTube⇒全国
- ② 対面⇒開催地や近傍



実行委員長
戸谷修二先生

2023/11/19

第13回全国若年認知症フォーラム

in大阪・東大阪（オンライン）

参加費 無料

「私からつなぐ社会」

日時 令和5年3月19日（日）13:00～17:00

13:00～13:10 開会あいさつ
来賓あいさつ

大会実行委員長 宮永 和夫
野田義和東大阪市長

13:10～13:40 講演

「若年認知症に対する
国の施策（仮題）」

厚生労働省老健局

13:40～14:30 基調講演

「新時代の認知症診断と治療」

池田学先生

（大阪大学大学院・医学系研究科精神医学教室教授）

14:55～15:50 報告

「私たちの活動がつなぐ社会」

～若年認知症の人たちの活動紹介～

- ①買い物支援（空堀商店街）
- ②私から伝えたいこと
（東大阪市在住の本人）
- ③私たちの活動（大阪市タック）
- ④当事者の私から（大阪市）

14:30～14:55 報告

「当協議会の活動報告」

宮永 和夫

（一社 全国若年認知症協議会代表理事）

15:55～16:50 シンポジウム

「私たちの活動がつなぐ社会」

シンポジスト：大阪の活動団体

コーディネーター：

小野寺敦志（一社 全国若年認知症協議会）

16:50～17:00 閉会あいさつと次年度フォーラムの紹介

※日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士 認定講座（3単位）

主催：一般社団法人 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会

後援（予定）：厚生労働省 大阪府 東大阪市 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 社会福祉法人東大阪市社会福祉協議会 東大阪市
身体障害者福祉協会 一般社団法人大阪府医師会 一般社団法人東大阪河内医師会 一般社団法人東大阪布施医師会 一般社団法人
東大阪枚岡医師会 一般社団法人大阪府歯科医師会 一般社団法人東大阪市東歯科医師会 一般社団法人東大阪市西歯科医師会 一
般社団法人大阪府薬剤師会 東大阪市河内薬剤師会 一般社団法人東大阪市布施薬剤師会 東大阪市枚岡薬剤師会 公益社団法人大
阪府看護協会 一般社団法人大阪府作業療法士会 一般社団法人大阪府言語聴覚士会 公益社団法人 大阪府歯科衛生士会 公益社
団法人大阪介護支援専門員協会 公益社団法人大阪社会福祉士会 公益社団法人大阪介護福祉士会 大阪精神保健福祉士協会 公益
社団法人大阪府訪問看護ステーション協会 社会福祉法人ひびき福祉会

問い合わせ sugihara.spc@kzd.biglobe.ne.jp 090-2118-1935（実行委員会大阪ワーキングチーム）

2023/11/19

ハイブリッド方式 (Zoom & YouTube)



池田学先生



老健局
中西亜紀氏



小野寺事務局長

福岡フォーラム

第14回全国若年認知症フォーラムin福岡

当事者の工夫をつなげるテクノロジー～若年認知症×認知症フレンドリーテック～

開催日時：令和5年11月19日（日）13:00～17:00

開催場所：健康づくりサポートセンター「あいいふ」2F
福岡市認知症フレンドリーセンター
福岡市中央区舞鶴2丁目5-1

ハイブリッド
開催

プログラム

- 1 開会の挨拶
- 2 厚生労働省講演 「認知症施策の方向性」
(厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課 課長補佐 中西亜紀氏)
- 3 基調講演 「認知症フレンドリーテックの可能性について」
講演者：内田直樹氏（たろうクリニック院長）
- 4 (一社)全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会の活動報告
(代表理事 宮永和夫)
- 5 福岡県若年性認知症サポートセンターの取り組み報告
(センター長 阿部かおり)
- 6 認知症フレンドリーテックの紹介「ハッカソンから生まれたプロダクト紹介」
- 7 シンポジウム「当事者の工夫をつなげるテクノロジー」

シンポジスト：内田直樹氏、丹野智文氏、山中しのぶ氏
ファシリテーター：阿部かおり

問合せ先：(第14回全国若年認知症フォーラムin福岡 事務局)
特定非常利活動法人たすけ愛京築（阿部・竹下）
☎0930-37-2240

主催：一般社団法人 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会

後援（予定）：厚生労働省、福岡県、福岡市、公益社団法人認知症の人と家族の会福岡県支部、社会福祉法人福岡県社会福祉協議会、社会福祉法人福岡市社会福祉協議会、一般社団法人福岡市医師会、一般社団法人福岡市歯科医師会、一般社団法人福岡市薬剤師会、公益社団法人福岡県看護協会、公益社団法人福岡県理学療法士会、公益社団法人福岡県作業療法士会、一般社団法人福岡県言語聴覚士会、公益社団法人福岡県社会福祉士会、公益社団法人福岡県介護福祉士会、公益社団法人福岡県介護支援専門員協会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会福岡県支部

ハイブリッド方式 (Zoom & YouTube)



老健局
中西亜紀氏



内田直樹先生



阿部かおり氏



丹野智文氏



山中しのぶ氏

本人と家族の尊厳と安寧

方法・手段

全国協議会

全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会
理事会、各種委員会

家族会間支援/交流・家族相談
新規家族会/支援者の会の設立

講演会・研修会・会報・書籍出版

全国若年認知症フォーラム

第6次産業創出・物流・相互交流
プラットフォーム作り(Jack Store)

国や行政への提言・情報発信
調査・研究・情報収集など

働きかけ・協働事業

全国

国・都道府県、市民

関係団体

若年認知症研究会、
関係4団体、医療・福祉
団体など

地域の
仲間

一般社団法人

全国 若年認知症家族会 支援者連絡協議会だより

創 刊 号

若年認知症とは、「18歳から64歳の年齢で発症した認知症の総称」です。平成29年度に全国調査が行われ、調査時の年齢が「65歳未満の患者さん」の数は全国で3万5000人存在すると報告されましたが、その時点で「65歳を過ぎて関病されている患者さん」も同程度確認されましたので、実際は全国で7万人前後の患者さんがいることになります。

Topics

- ・代表理事挨拶
- ・委員会の説明
- ・各地の会員団体の紹介
- ・コロナウイルス感染防止対策マニュアル
- ・後書き

代表理事挨拶



本会のあり方 宮永 和夫

本会の代表理事を仰せつかりました。皆さんのご期待に添えるよう頑張りたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

さて、本会は、平成22年10月に全国の若年(性)認知症の当事者団体として活動してきましたが、本年(令和3年)4月より一般社団法人として活動することになりました。本会が目指すのは、若年(性)認知症に係る医療・福祉・介護・就労・生活支援の充実と、社会参加の促進です。いわゆる、「健康な人も障害をもつ人も皆平等に共生社会の実現に向けた活動や、国連総会で採択されたSDGsの目標3「健康と長寿な生活の実現」の達成に貢献すること」を、この取り組みにも繋がるものです。これらを達成するため、本会内部の独自の活動と共に、社会全体への情報発信、認知症に関係する、または関心を持っている団体・組織との情報交換や連携を行うことにより、順次課題を解決して行きたいと考えています。

また、本会は、一つ一つの会が行っている活動の情報を共有することで、よりレベルの高い活動を取捨選択し、自分の会に還元できると思います。お互いを支えあうというより、一つ一つの会が自己実現・自己成長してゆくという感じでしょうか。または、何かしてもらおうという受け身の活動でなく、皆が互いに励ましあひながら、山頂を目指して登ってゆくイメージでしょうか。わたしは本会のイメージをゾウリムシでなく、アメーバに例えたいと思います。ゾウリムシは皆が同じ方向に進むときは大きな力になりますが、危険や障害があっても戻戻りできません。アメーバは如何でしょうか。歩みは鈍いのですが、色々な方向に動き、結果として危険や障害を避けて無事目的を達成できる可能性があります。是非、目標達成まで、支えあい、一緒に進んでゆきましょう。

一般社団法人

全国 若年認知症家族会 支援者連絡協議会だより



NO.6

若年認知症とは、「18歳から64歳の年齢で発症した認知症の総称」です。平成29年度に全国調査が行われ、調査時の年齢が「65歳未満の患者さん」の数は全国で3万5,700人存在すると報告されましたが、その時点で「65歳を過ぎて関病されている患者さん」も同程度確認されましたので、実際は若年発症の患者さんが全国で7万人前後いることになります。

Topics

- ・第13回全国若年認知症フォーラムin大阪・東大特集
- ・家族会の立ち上げ
- ・「若年認知症の妻と向き合う」
- ・後書き

第13回 全国若年認知症フォーラムin大阪・東大

「私がつなぐ社会」

2023年3月19日(日)ZOOM オンラインで開催されました。視聴方法は ZOOM ウェビナーを使用し、事前申込制としましたが、締め切り後も参加希望者は当日参加できるようワーキングチームや事務局にて対応しました。結果、事前の申込者数 300名、延べ参加人数 376名(同じ参加者が入退室した際も1とカウント)、瞬間最大同時視聴数は210名と、多くの方にご視聴いただき



「やや不満」「不満」の5件法で聞いたところ、99%以上の視聴者に大変好評でありました。また、進行もスムーズで紹介ビデオも良くまとめられていた。活動の重要性を感じた。もっと地域でつ

- ・行政の説明、フォーラムの歴史、そして当事者や活動団体の実際を知ることができた。
- ・長時間ではあったが、講演、活動紹介、シンポジウムどれも今後の活動の参考になった。また、進行もスムーズで紹介ビデオも良くまとめられていた。
- ・国が行っている認知症施策の取り組み状況や評価を知る事が出来た。
- ・認知症の診断と適切な服薬につながる時代が来ていることが理解できた。
- ・最新の若年性認知症に関する情報、薬の開発、特に前頭頭葉型に対しても着実に進んでいることがうかがえたのは大変良かった。
- ・様々な取り組みや環境によって生きがいや社会貢献になり、生きづらさの軽減になっていると思った。
- ・高次脳機能障害とのコラボ、さらにほかの障害・地域課題等とのネットワークの構築、大変いい方向性を示してくれたと思う。よいとこ取りの考えがすごく良いと思った。

Online Shop Jack Store

Jack Store は 年がら年中開店しています。

来店する場合はスペース無でJackStoreと検索!
もしくは、右記のQRコードを読み取る! URLを直接打ち
込む! どの方法でも構いません。

皆様のご来店を心よりお待ちしております♡



URL
<http://JackStore.base.shop>

～購入方法～

①欲しい商品をクリック



②「カートに入れる」をクリック



③購入者情報、支払い方法等を入力する。

payIDについては、必要なければ登録はいりません。その先のお届け先情報入力へお進みください。

payIDでクレジットカード情報等を登録すると次回購入の際に個人情報の入力を省略することができます。

④「入力内容の確認へ」をクリック

⑤内容に誤りがなければ「購入を確定する」をクリック

⑥↓この画面が最後です

※コンビニ払いの場合、支払い時、6桁の受付番号または確定番号が必要です。数字は「購入ありがとうございます!」の画面下に表示されますが、登録したメールアドレスにも「BASE (ベース)」より「【JackStore】商品代金お支払いのお願い」メールが届きますので、ご確認の上、お支払い願います。



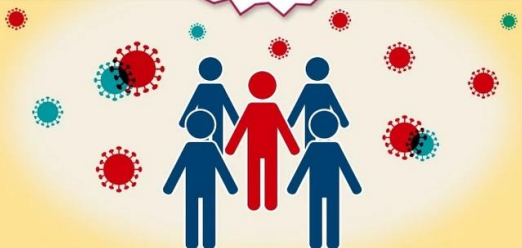
産業・
物流委
員会:

会員団
体(若年
認知症
の本人
や支援
者)が作
成した
商品の
販売

2023/11/19

若年性認知症 新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル

そなえて、安心!! “その時” 慌てないために



[Contents]

本マニュアルは、「若年性認知症の人・家族」「専門職」などの立場に分けた内容で構成しています。必要な情報を選び、該当するページをご覧ください。



若年性認知症の人・家族向け

“その時”のために
緊急時情報提供シート
不安・困りごとを解決!! こんなときどうする
ひとりで悩まないで、相談しよう
自然災害への備え



専門職向け

専門職の皆さんへ / 若年性認知症の人と、その家族との コミュニケーションを / 情報収集は小まめに 12
サービスを途絶えさせない工夫を 13
スタッフの心理的ケア / 事業主・管理者の皆さんへ 14
医療関係者、一般の皆さんへのメッセージ 16

全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会
READYFOR 新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金

調査レポート

若年性認知症の、いま

— 家族会と新型コロナ —

報告書・解説書

一般社団法人若年認知症家族会・支援者連絡協議会

若年性認知症家族会立ち上げ支援マニュアル (支援者向け)



はじめに

若年性認知症は診断された本人と家族の生活に大きな影響をもたらします。現在では認知症疾患医療センターや認知症初期集中支援チーム、認知症ケアバス等の整備が進むことで、早期診断のルートは周知されつつありますが、その診断直後から生活の支援という点では、十分とは言えない状況があります。診断前の様々な関係性やつながりが診断されることで断絶されてしまうことがあります。

例えば、診断されることで地域社会の役割や社会生活が失われたり、あるいは免許返納により、これまで出かけていた場所にも出かけられなくなってしまうこと、就労の継続が難しいと周囲から判断されてしまうことなど多数考えられます。こうした状況は本人や家族に多くのストレスを生じさせます。そのストレスは、最も身近な家族にも影響を及ぼし関係性が崩れていくこともあります。本人支援と家族支援はどちらも重要であることは言うまでもありませんが、こうした関係性を支援することこそ、在宅生活を安定し継続させるためには重要です。

しかしながら、これまではそれぞれの支援が別個に行われていました。家族のピアサポート場面では、ストレスや衝動的な感情は一時的に抑えられてきたかもしれませんが、本人の支援も同様です。そこで私たち一般社団法人全国若年認知症協議会は、本人、家族を支える活動を推進するために継続的に支援できる家族会の立ち上げと継続支援をしていきたいと思っています。その場の地域資源の特性を活かした様々な形で孤立しない環境づくりをしていきたいという目的があります。

この冊子は、若年性認知症家族会を立ち上げる方を支援して下さる方が、参考としサポートしていただければと考えております。

赤い羽根福祉基金助成金
による冊子

【無料/オンライン】認知症で日本をつなぐシンポジウム2023

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」で

認知症と ともにあゆむ まちづくりを

基調講演

「共生社会の実現を推進するための
認知症基本法」をよく知る(仮題)

福祉ジャーナリスト **町永 俊雄氏**

参加費
無料
オンライン

1971年10月入社。2004年から「福祉ネットワーク」を担当し、障がい、医療、認知症、介護、社会保障など現代の福祉をテーマとしてきた。現在は福祉ジャーナリストとして、認知症や高齢社会、共生社会のあり方をめぐり、執筆や講演活動をしている。

シンポジウム

「認知症基本法を追い風に、地域で希望をもって認知症とともに生きる
—わたしたちにできることは—」

2023年6月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立しました。シンポジウムではこの基本法への理解を深め、認知症への理解が進み、認知症の人や家族が希望をもって、地域で共に生きるということに参加のみならず一緒に考える場とします。



オンラインシンポジウム

小野寺 敦志氏
(コーディネーター)

手島 洋氏
(男性介護ネット)

藤田 和子氏
(JDWG)

藤井 博子氏
(DLBSN)

竹下 順一氏
(全国若年協議会)

鎌田 松代氏
(「家族の会」)

2023年
11月5日
13:00~16:00

認知症ケア専門士
3単位取得講座

どなたでもオンラインで自由にご覧いただけます。

視聴方法

YouTubeでライブ配信します。オンラインのみで申し込み不要です。
当日直接、右のQRコードまたはURLよりご覧ください。アーカイブ視聴可。

YouTube <https://bit.ly/tsunagu2023>



認知症関係当事者・
支援者連絡会議

- 主催：認知症関係当事者・支援者連絡会議
 - ・(一社)全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会
 - ・男性介護者と支援者の全国ネットワーク
 - ・レビー小体型認知症サポートネットワーク(DLBSN)
 - ・(公社)認知症の人と家族の会

- 問い合わせ
認知症関係当事者・支援者連絡会議 事務局
公益社団法人認知症の人と家族の会(鎌田・辻村)
〒602-8222 京都市上京区晴明町811-3 同部ビル2F
office@alzheimer.or.jp ☎050-5358-6580
- 共催：(一社)日本認知症本人ワーキンググループ(JDWG)
- 協賛：アクサ生命
- 後援：(一社)日本認知症ケア学会



認知症関係当事者・支援者団体の交流・発信ウェブサイト
認知症で日本をつなぐそして世界へ

連携事業

(認知症関係当事者・支援者連絡会議)

- ①一般社団法人 全国若年認知症家族会・
支援者連絡協議会
- ②公益社団法人 認知症の人と家族の会
- ③男性介護者と支援者の全国ネットワーク
- ④レビー小体型認知症サポートネットワーク

若年認知症研究会

- 目的 ①非アルツハイマー病の知識普及
②医療者と家族・患者との交流

歴史

H17 (2005年) ピック病研究会として発足
H18～H20 若年認知症と背景疾患研究会
H21～現在 若年認知症研究会

会長 川勝忍 福島大学精神科教授
事務局長 宮永和夫

(英名 : Japan Academy for Pick' s Disease
and Early-onset Dementias)

I. 第1回Pick病研究会講演

1. 平成17年(2005年)12月 東京・品川 13:30～17:30

2. 参加者 医師／一般 100名

3. 内容

①開会挨拶 田邊 敬貴 先生(愛媛大学医学部神経精神医学講座)

②ご挨拶 渡辺 由美子 先生(厚生労働省認知症対策推進室)

③講演1 田邊敬貴先生(愛媛大学医学部神経精神医学講座) 13:50～14:40

④講演2 Dr. David Neary (Hope Hospital, UK) 14:40～15:40

⑤講演3 Dr. Julie S Snowden (Hope Hospital, UK) 15:50～16:50

⑥講演4 「彩星の会」患者家族の方より 16:50～17:20

⑦閉会挨拶 宮永 和夫 先生(群馬県こころの健康センター)

第1回ピック病研究会講演



田邊先生

Snowden先生

Neary先生

彩星の会
家族2人

福岡フォーラム

第18回 若年認知症研究会講演会

日時：2018年3月25日10:00～12:30

場所：ユートリー 5F 視聴覚室（青森県八戸市）
（一般財団法人 八戸地域地場産業振興センター）

座長：池田学先生

（大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学分野教授
熊本大学大学客員教授）

講演1 10:05-11:05

「若年性認知症の地域支援と家族心理教室」

演者：池田学先生

講演2 11:05-12:05

「若年認知症の診断におけるアミロイド PETの意義」

演者：川勝忍先生

（福島県立医科大学会津医療センター精神医学 講座 教授）

講演3 12:05-12:25

「若年認知症研究会の活動について」

演者：宮永和夫先生

（南魚沼市立ゆきぐに大和病院 病院事業管理者）

2023/11/19

福岡フォーラム



これからの流れ（私案その1）

1. 受け皿作り

- ①介護保険以前の人の受け皿（居場所作り）＝認知症カフェからの発展系
診断後の本人・家族だけでなく、介護相談、予防活動を含む。官製でなく、ボランティアなどのボトムアップの活動が良い。
- ②生活保護以前の人の受け皿（経済的支援）＝（認知症/子供/生活困窮者）
認知症だけでなく、こども・障害者・高齢者を対象にした支援施設。また、独居者だけでなく、老老介護、認認介護の家庭を支える仕組みも含む。

2. 移動支援の拡大

定期的な移動支援を介護保険や障害者自立支援法内に制定する

3. 認知症バリアフリーの取り組み

認知症ヘルプカードや関連品を広めるとともに、理解者を増やす。
認知症ピアサポーター研修、家族介護研修などの事業を進める。

4. 終末期（人生の最終段階）の問題

事前指示書などを通じて、終末期のあり方（医療・介護）を考える。認知症を含む流れを作る。

これからの流れ（私案その2）

5. 医療と介護の制度の充実

①医療体制の充実

医療での差別（入院や手術の制限、身体疾患の診断や治療の不適正さ、不十分な終末期の対応）の撤廃。

②介護体制の充実

介護保険の財政的・人的破綻による不適正な対応（認知症対応施設の減少、不適切な介護度判定や支援の欠如）の改善。

6. IT化の推進

医療と介護分野への公的補助

7. 認知症基本法の理念の実現（言葉でなく、中身が大切）

8. 認知症治療薬の開発の推進

⇒ 偏見は治療が困難なことから生まれるものです。

①アミロイド抗体薬の適応拡大

②根本治療薬の開発の推進

③アンチエイジング薬の開発

ご清聴ありがとうございました

認知症は誰もがなる普通の病気です。

近未来には、
他の病気のように、
治療を行えば改善したり、
完治する病気になることを願っています。